

令和2年度 学校評価 (R2年4月～R3年3月)

◇ 評価点は、Ⅰ～Ⅸのカテゴリーごとにある各項目を、〔3 : あてはまる 2 : ややあてはまる 1 : あてはまらない〕と採点し、その平均点として表したものである。

カテゴリー	自己評価評価点	学校関係者評価評価点
	概要・今後の課題	概要・今後の課題
Ⅰ 教育理念・教育目的	評価点〔 3.00 〕 特別問題はない。入学する学生への更なる広報活動の充実をする。問題を抱えている学生に対して、家族・保護者との連携をしてサポートをしていく。	評価点〔 3.00 〕 自己評価の内容を承認
	Ⅱ 教育目標	評価点〔 3.00 〕 特別問題はない。次年度のカリキュラム変更に向けてのマニュアル作りを進めていく。
Ⅲ 教育課程経営	評価点〔 2.90 〕 担当教員の領域を大きく変えず、専門性を生かした。また、計画的に病院との人事交流の調整を図っていく。	評価点〔 2.90 〕 自己評価の内容を承認
	Ⅳ 教授・学習・評価過程	評価点〔 2.50 〕 教員間の連携について引き続き検討していく。授業研究などで質の向上を図る必要がある。
Ⅴ 経営・管理過程	評価点〔 2.60 〕 意思決定のシステムとして管理職会議、教員会議に加えて全職員を対象に職員会議を開催していく。	評価点〔 2.60 〕 自己評価の内容を承認 多くの学生に学んでもらえる魅力ある学校になってほしい。
	Ⅵ 入学	評価点〔 2.50 〕 人材確保に向けての戦略を立てる。業者主催の進路ガイダンスに加えて、今後は奈良県以外の近隣の高等学校にも進路指導の先生に会いに学校訪問をしていく。
Ⅶ 卒業・就業・進学	評価点〔 2.20 〕 看護師国家試験の合格100%を目標とし、地域医療に貢献する学生を輩出していく。	評価点〔 2.20 〕 自己評価の内容を承認
	Ⅷ 地域社会／国際交流	評価点〔 2.80 〕 今年度はコロナ禍の為、全般的に人が集まる企画が難しかった。地域の方が、学校をより良く知ってもらうための機会を設けていくことに努める。地域のニーズを捉えた教育を行った結果、市内での就職率が8割を超えた。災害医療では地球規模の環境を考える機会とし、インターネットも使える学習環境を整えている。
Ⅸ 研究	評価点〔 2.00 〕 教員の研究活動を促進し、今後も労働環境の充実を図っていく。また、倫理委員会を立ち上げ、教員の研究活動に倫理面での体制を整えていく。	評価点〔 2.00 〕 自己評価の内容を承認

◇学校関係者評価委員会 令和3年3月30日 本校会議室で開催

委員長 国分 清和 (奈良市医師会会長) 欠席
 委員 平 葉子 (奈良県看護協会会長)
 杉浦 正美 (市立奈良病院経営企画室長) 欠席
 川上 正 (市立奈良病院事務部長)
 久保 英雄 (飛鳥地区自治連合会長)
 事務局 網本 香織 (校長)
 岡田 和美 (副校長)
 竹本 和代 (事務長)